

本時のねらい

・角の大きさを求める方法を理解し、角の大きさを求めることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・Jamboard を利用することで、自分の意見や友だちの意見を瞬時に共有することができ、課題解決に向けて共に考えていくことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ロイロノート ・Jamboard ・テレビモニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・レスキュー 99 を解く。(基礎の定着) ・今まで習った図形の性質を思い出す。→ロイロノートで送る <p>○図形の性質 三角形の内角の和は、180°である。 対頂角は等しい。 平行線の同位角や錯角は等しい。 三角形の外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい。 等</p>	友だちがまとめたカードをロイロノートで画面共有することで、図形の性質をできるだけ多く思い出して整理する。
展開 (35分)	<p>めあて「角の大きさを求める方法を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで習った性質を使って解く。 ・補助線を使って解く方法を考える。 <p>・角の大きさの求め方を Jamboard を使って考える。 例① 平行線をひいて、錯角を見つける。 例② 三角形を作って、内角や外角の性質を使う。 等</p> <p>○1人で考える→3人グループで考える→意見をまとめて説明する ○意見が出ない場合は、使う性質からヒントを与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題を解く。 	<p>Jamboard で1つのページに3人で意見を書き込めるようにし、意見を伝えやすくする。</p> <p>どんな性質があったのか、ロイロノートを確認しながら考えられるようにする。</p>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の根拠を振り返り、方法を比較する。 <p>○既習の図形の性質を利用すれば、正解を導き出すことができる補助線は多数ある。その中から最も適切な方法を選択する良さに気づく。</p>	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



図形の性質をまとめて提出したカードについて、説明している場面。



Jamboard に書き込みながら、自分が考えた求め方を教員に説明している場面。



角の大きさの求め方を Jamboard を使って友だちと話し合っている場面。

児童生徒の反応や変容

自分とは違った友だちの意見を聞いたとき、復習で思い出した図形の性質が使われていて、「あ〜！！」と気づきと納得の反応があった。友だちの助けを借りながら、説明し、伝え合っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・Jamboard を使うことで、友だちの意見をすぐ知ることができ、同じ画面を見ながら意見交換がしやすくなる。
 ・課題解決に向けた考え方や工夫がデータとして仲間と共有され、スムーズに取り組むことができる。また、そのデータを提出させることにより、生徒たちの思考の過程や足跡を見取ることができ、指導に生かす評価のための資料として扱うことができる。